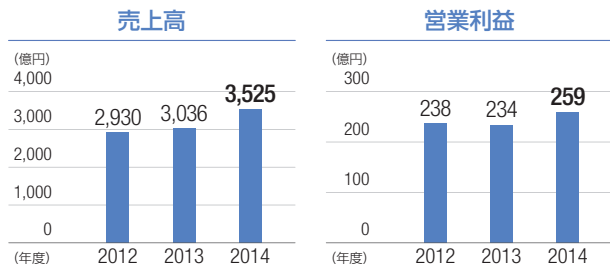


2014年度セグメント別概況(連結)

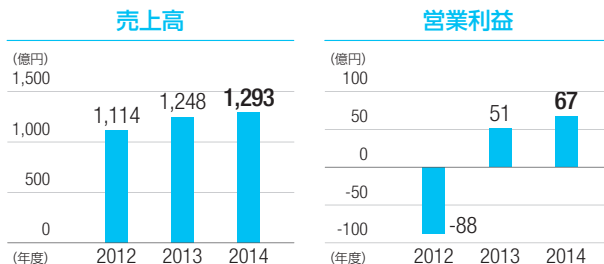
情報通信システム



外部顧客に対する売上高は、3,525億円(前期比489億円、16.1%増加)となりました。ソリューション&サービスは、金融システムが減少したものの官公庁・法人向けシステム等は概ね順調に推移しました。通信システムでは、キャリア向けの既存NWが前倒し需要により増加したほか、ホームNWやGE-PONが順調だったことから増収、社会システムも消防デジタル無線の前倒しや交通関連案件も好調だったことにより増収となりました。メカトロシステムは、中国を中心とした海外向けATMが好調だったことに加え、ブラジル子会社の連結効果、さらに国内でも現金処理機が増加したことから大幅な増収となりました。

営業利益は、各事業とも順調に推移したことからブラジル子会社の連結影響を吸収し、259億円(同25億円増加)となりました。

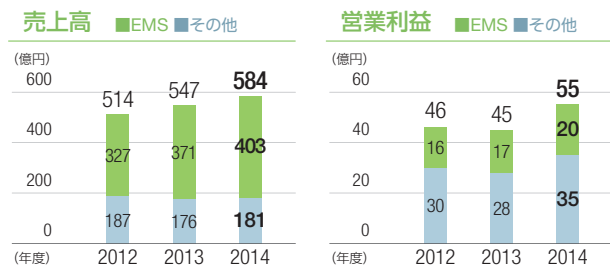
プリンタ



外部顧客に対する売上高は、1,293億円(前期比45億円、3.6%増加)となりました。ノンインパクトプリンタ市場では、引き続きモノクロからカラー、プリンタから複合機へのシフトが進んでいます。そのような市場環境において、カラーLEDプリンタは、機種構成の改善は進んだものの売上高は横ばいとなりました。モノクロLEDプリンタは、大口案件の獲得により増収となりました。ドットインパクトプリンタは、市場が縮小傾向にある中、概ね前年並みとなりました。

営業利益は、機種構成の良化に加え構造改革効果により増加し、67億円(同16億円増加)となりました。

EMS、その他



外部顧客に対する売上高は、EMS事業で403億円(前期比32億円、8.6%増加)、その他の事業で181億円(同5億円、2.8%増加)となりました。EMS事業では、ハイエンドEMSとしてOKIブランドが浸透したことによって新規顧客を順調に獲得し、その他の事業ではリードスイッチなど部品関連の好調が持続したことから、それぞれ増収となりました。

営業利益は、EMS事業で20億円(同3億円増加)、その他の事業では35億円(同7億円増加)となりました。